

平成22年度第2回近畿ブロッククラブミーティング2010開催報告

平成22年度第2回近畿ブロッククラブミーティング2010が、11月20日・21日、滋賀県草津市の立命館大学びわこ・くさつキャンパスで開かれました。

1日目は、日本体育協会の創設支援1年目・2年目のクラブが参加し、クラブ創りの取り組み状況や課題を発表した後、少人数に分かれてグループディスカッションを行い、進捗状況を確認しながら抱えている問題点や課題の解決策を探りました。

2日目は、近畿地域の自立支援クラブや府県総合型クラブ連絡協議会に加盟しているクラブ関係者らが参加しました。この日はブース形式で先進クラブが発表し、その後参加者との質疑をおこないました。参加者は、いろいろなクラブ運営のあり方を目の当たりにし、クラブ運営のヒントを持ち帰りました。

両日とも熱心にメモする姿や質疑が活発に繰り広げられ、クラブに携わる人たちが近畿各府県の枠を超えたネットワークを築きました。

【第1日の報告(11月20日)】

11月20日の1日目は、日本体育協会の創設支援クラブ(設立準備委員会や実行委員会等)の関係者をはじめ、府県クラブ育成アドバイザー・府県体育協会担当者ら総勢53名が参加しました。

日本体育協会クラブ育成課の青田慎太郎課長が挨拶を行った後、全国のクラブ育成状況やスポーツ立国戦略の概要が報告されました。

この後、「第1部=創設支援1年目クラブの発表」「第2部=創設支援2年目クラブの発表」「第3部=グループディスカッション」「第4部=全体会・まとめ」の4部構成で行われました。



第1部=創設支援1年目クラブの発表

創設支援1年目の15クラブが2グループに分かれ、地方企画班の松田雅彦班長と菅井實班員がコーディネーターを務め、クラブ創りへ向けた進捗状況や抱えている課題などを1クラブずつ発表しました。



活動を始めて1年目ということで、進捗状況もさまざまでした。クラブの理念づくりに力を入れているクラブやスポーツ教室・イベントなどの事業を実施しながら理念を共有しようとしているクラブもありました。また、地域の特性や都市部・山間部の違い、あるいは設立母体による進捗の違いも浮き彫りとなったほか、行政支援、施設の確保、理念の共有などさまざまな問題や課題も浮かび上がりました。

第2部 = 創設支援2年目クラブの発表

創設支援2年目の発表では、地方企画班の立野誠次班員がコーディネーターを務め、5クラブが発表しました。

どのクラブも設立を目前に控えている中、「クラブの理念を共通理解していくには、まずは人を知り、信頼関係を築いていくことが大事である」といった発表や、「イベント(健康マラソン大会)をみんなで盛り上げ意識を高めようとしている。自治会とのパイプを深め、補助金をいただくことで参加者の負担を軽減しようとしている。行政の支援を受けず、自分たちで知恵を出して活動している。2年目は会議の回数を増やした。小学校の施設利用団体に声をかけて賛同を呼び掛けている。地域コミュニティを再構築しようと呼びかけている。若い人にスタッフになってもらいたい」などの発表がありました。また、設立総会の日を既に決めて取り組んでいるクラブもありました。



第3部 = グループディスカッション

グループディスカッションでは、多くの人が発言できるよう少人数によるグループ(A~F)で話し合いが行われました。(各グループでの話し合いの内容は次のとおり)

Aグループ = 学校を中心とするクラブが2つあり、教員とクラブの両立の問題や行政との関係、会費、スタッフの確保について話し合われました。

Bグループ = 拠点、事務局、広報、他団体との関係、NPO取得などについて話題提供されました。

Cグループ = 拠点施設、事務局、スタッフの確保、理念の共有などの必要性について確認されました。

Dグループ = 理念の共有、人材育成、財源、広報、行政との関係、指導者の問題などについて話題に上っていました。

Eグループ = 会費の設定、補助金が切れた後の運営、理念の共有、総合型クラブの啓発、組織のあり方などについて話し合われました。

Fグループ = 人材の確保、行政との関係、今後のビジョンの持ち方など、さまざまな話題について話し合われました。



各グループとも忌憚のない意見や発言が相次ぎ、進行役を務めた府県クラブ育成アドバイザーらが個々の疑問に対してアドバイスを行うなど、それぞれ持ち合わせている情報を交換し、クラブ創りへの不安感や課題の解決に努めました。

第4部 = 全体会・まとめ

全体会では地方企画班の東直也班員がコーディネーターを務め、すべてのグループの話し合いの内容が披露され、グループ間の情報が共有されました。

「行政との関係」「参加料の設定の仕方」「施設確保や使用方法」「事務局員の確保」「地域の色々な人が運営委員会に参加できる方法」「理念を共有させる方法」「クラブのイメージ創り」などの報告がありました。

グループ発表の後、地方企画班員から「事務局体制の整備強化に努めてほしい」「参加料徴収に対する不安感があるけれども失敗を恐れず挑戦してほしい」「広州アジア大会では囲碁や将棋なども競技種目になっている。スポーツの意味をもう一度考え、クラブ創りに役立てましょう」「スポーツを通じて顔の見える関係を築きましょう」と、アドバイスとエールが送られました。

最後に、松田雅彦班長が「新しい公共を担う総合型クラブは、地域のすべての人に役割があり居場所があるまちづくりを目指していることが特徴であり、各クラブがしっかりとしたミッション(使命)をもって活動しなければならない」と呼びかけ、第1日を終了しました。

【第2日の報告(11月21日)】

11月21日の2日目は、近畿地域の自立支援クラブや府県総合型クラブ連絡協議会に加盟している関係者を対象に、日本体育協会と総合型地域スポーツクラブ全国協議会(SC全国ネットワーク)が主催して行われ、近畿2府4県のクラブ関係者、府県クラブ育成アドバイザー・府県体育協会担当者ら総勢79名が参加しました。



日本体育協会クラブ育成課の青田慎太郎課長が挨拶を行い、全国のクラブ育成状況などが報告され、

その後、SC全国ネットワークの大原克彦常任幹事(近畿ブロック)が挨拶を行いました。

この後、地方企画班の松田雅彦班長が、文部科学省が発表した「スポーツ立国戦略」を説明し、開催趣旨や発表クラブ紹介に続き、「ブース巡回方式によるコミュニケーションタイム」「全体会・まとめ」の日程で行われました。

< 2日目の日程(スケジュール) >

12時50分	開会行事
13時05分	スポーツ立国戦略の説明
13時25分	趣旨説明と発表クラブの紹介
13時45分	アイスブレイキング(巡回するブースの決定)
13時55分~	コミュニケーションタイム(1巡目) 説明10分・質疑25分・移動15分
14時45分~	コミュニケーションタイム(2巡目) 説明10分・質疑25分・移動15分
15時35分~	コミュニケーションタイム(3巡目) 説明10分・質疑25分・移動25分
16時35分~	全体会議・まとめ
16時55分	閉会行事

1. 開催趣旨・日程説明、発表クラブ紹介

地方企画班の立野誠次班員が「クラブを設立して2年・3年・5年経つと新たな課題も出てきます。単独のクラブで悩まず、他クラブと話し合うことで解決策の糸口を探り、持ち帰りましょう。このことがひいてはネットワークの強化につながり、近畿地域の府県クラブ連

絡協議会の連携が強化されます」と、開催趣旨を説明しました。その後、日程や巡回方法を説明し、ブースを設けている発表クラブの概要を1クラブずつ紹介しました。

2. コミュニケーションタイムの内容



ブース巡回方式によるコミュニケーションタイムは、さまざまな特徴をもった近畿各地の先進クラブにブースを設けていただき、参加者は7つのブースから3つを選び、各クラブの活動状況の説明を受け、質疑をするというスタイルで行われました。

どのブースも身振り手振りを交えて発表され、参加者も熱心に説明を聞き、忌憚なく質問する光景・姿が見られました。多くの課題がある中で、住んでいる地域のクラブをより発展させたい強い熱意が伝わってきました。

単独クラブだけでは難しい課題を、クラブ同士が手を結ぶことで、どのように解決できるのか、解決の糸口が見えてきたのではないのでしょうか。

当日ブースを設けて発表いただいた先進クラブの概要は下記のとおりです。

テーマ 指定管理の申請における注意点

NPO法人ゆうゆうスポーツクラブ海南 (海南省)

平成19年に設立。事務局は市の総合体育館内。21年4月から海南省19のスポーツ施設のうち10施設の指定管理者になる。体育館=3 運動場やスポーツ広場=3 テニスコート=3 室内プール=1。クラブでは、「らくらく連絡網=携帯電話とPCで使える無料メール連絡網」を有効活用している。

和歌山県 大阪府 **テーマ** 指定管理の申請における注意点
(和歌山県海南市)
NPO法人ゆうゆうスポーツクラブ海南

海南市の概要
人口約6万人。和歌山県の北西部。四季を通して温暖な気候に恵まれ、南部ではみかんやびわの栽培、北部では桃の栽培が盛ん。沿岸部ではシラスや鮭、ワカメなどの海の幸にも恵まれる。

クラブと指定管理施設
19年に設立。事務局は総合体育館内。
21年4月から海南省の19の施設のうち、**10施設の指定管理**になる。体育館=3、運動場やスポーツ広場=3、テニスコート=3、室内プール=1
「らくらく連絡網」=携帯電話とPCで使える無料メール連絡網」を有効活用。

なぜ、指定管理を受けたのですか？
申請手続きが簡便では？
指定管理を受けてクラブがどう変わったの？

テーマ 効果的な広報活動とその工夫

奈良県 川西スポーツクラブ (川西町)

まちの概要
川西町は、人口約8,900人のまち。まちづくりのビジョンは「にぎわい やすらぎ うるおいのまち かわにし」。

川西スポーツクラブ=通称「川スポ(kawa-spo)」
「みんなでつくる、みんなのクラブ」。「会員一人一人が主役」を合言葉に、熱い情熱と強い意志を持ち、町民一丸となって盛り上げよう。と19年に設立。スローガンは、「やったるで！川西！」。

通年教室19種目、短期教室12種目、クラブ活動として川スポクラブ6種目、スポーツ少年団3種目、体育協会所属クラブ9種目。
クラブマネージャー、アシスタントマネージャー、常任理事、各担当理事によって運営している。

どんな広報をしているんだろう？
費用はどれくらい？
アイデアはどのように生まれるんだろう？
イメージをどうやって具体化するの？

テーマ 効果的な広報活動とその工夫

川西スポーツクラブ (川西町)

通称は「川スポ(kawa-spo)」。「みんなでつくる みんなのクラブ」会員一人一人が主役」を合言葉に、熱い情熱と強い意志を持ち、町民一丸となって盛り上げよう-と平成19年に設立。スローガンは「やったるで！川西！」。

クラブマネージャー、アシスタントマネージャー、常任理事、各担当理事で運営している。

テーマ クラブにおける事業展開

スポーツクラブ21こやの里(伊丹市)

平成16年3月に発足。昆陽里小学校を活動拠点に活動している。活動日は第2・4土曜で、多種目のスポーツ活動のほか、夏祭り・焼きいも大会・カヌー教室・ハイキングなどを行っている。市内の17全小学校区に地域スポーツクラブ(SC21)が活動中。

兵庫県 テーマ **クラブにおける事業展開**

(兵庫県伊丹市) **スポーツクラブ21こやの里**

まちの概要など
 伊丹市は、人口約196,000人。兵庫県南東部に位置し、特に大阪国際空港(伊丹空港)のまちとして有名。
 小学校17校、中学校8校。
 市内の17全小学校区に地域スポーツクラブ(SC21)が活動中。

クラブの概要
 16年3月に発足。昆陽里小学校を活動拠点に、活動している。
 活動日は第2・4土曜で、多種目のスポーツ活動のほか、夏祭り・焼きいも大会・カヌー教室・ハイキングなどを行っている。

どんな事業をどのように行っているの?
 ・指導者はどんな人たちが?
 ・会費や参加料は?
 ・市内他のクラブとの交流は?



滋賀県 テーマ **クラブと大学との連携**

(滋賀県大津市) **NPO法人 BIWAKO SPORTS CLUB**

まちの概要
 大津市は「びわ湖」の南西に広がる湖岸所在地。18年3月、大津市と志賀町が合併し、人口約323,000人の「新・大津市」がスタート。毎年8月1日に「びわ湖大津夏まつり」・江州音頭祭などあり、8日には「びわ湖大花火大会」が真夏の夜とびわ湖の水面を華麗に彩る。

クラブの概要
 志賀町地区を中心に設立したクラブ。自然豊かな環境を活かし、レクリエーション型から競技型への連続性を目標としている。
 「びわ湖大津夏まつり」の知識・人材などの資源をクラブ運営に活かし、他にはないユニークなクラブ運営に努めている。

クラブの役員と大学との役割分担は?
 ・大学と連携するきっかけはどんな経緯?
 ・謝金等の取り扱いは?



テーマ クラブと大学との連携

NPO法人BIWAKO SPORTS CLUB(大津市)

志賀町地区を中心に設立したクラブ。自然豊かな環境を活かし、レクリエーション型から競技型への連続性を目標としている。びわこ成蹊スポーツ大学の知識、人材などの資源をクラブ運営に活かすユニークな運営に努めている。

テーマ -1 クラブ運営の内部スタッフの役割分担

NPO法人TSC(高島市)

質の高いスポーツサービスを提供し、地域からトップアスリートが誕生することで、地域の活性化を目指している。アスリート育成プロジェクト=野球・バレーボール・サッカー トータルスポーツプロジェクト=たいいくの学校・トータルスポーツ スポーツイベント=バレー合宿・合同合宿、グラウンドゴルフ&マラソン大会、スキー教室Vリーグ観戦など

滋賀県 テーマ **-1 クラブ運営の内部スタッフの役割分担**

(滋賀県高島市) **NPO法人 TSC**

まちの概要
 高島市は、人口約54,000人。17年1月、苗木町・今津町・朽木村・安曇川町・高島町・新旭町の5町1村が合併。冬の寒さは厳しく、積雪量の多い日本海側気候。秋季には「高島しぐれ」と呼ばれる梅雨がしばしば。

TSCの概要
 地域の青少年や住民に対して、質の高いスポーツサービスを提供し、地域の中からトップアスリートが誕生することを目標としている。
アスリート育成プロジェクト
 野球・バレーボール・サッカー
トータルスポーツプロジェクト
 たいいくの学校・トータルスポーツ
スポーツイベント
 バレー合宿・合同合宿、グラウンドゴルフ&マラソン大会、スキー教室Vリーグ観戦など

優れた有資格指導者が必要では?
 ・活動回数も増えるけど、場所はどやうやって?
 ・会費や参加費はどのくらい?



兵庫県 テーマ **-2 クラブ運営の内部スタッフの役割**

(たつの市) **スポーツクラブ21おやけ**

まちの概要など
 たつの市は、兵庫県の南西部の西播磨地域に位置し、南北に長い地形。市の北側は山地が広がり、南は瀬戸内海に面し、南北に長く形で播磨川が流れており、自然環境に恵まれている。市の人口は、約82,000人。小学校17校。市内に18クラブが活動している。

クラブの概要
 15年に発足し小宅小学校を活動拠点に活動。フルコンカラテ、バドミントン、バスケットボール、卓球、バレーボール、ソフトバレーボール、フットサル、空手、少林寺拳法、ペタンク、グラウンドゴルフ、ゲートボール、サッカー、少年野球、ウォーキング、登山など多項目。

多彩な種目の指導者は、どんな人たちが?
 ・既存の種目団体からの協力は?
 ・事務局はどんな人たちが?



テーマ -2 クラブ運営の内部スタッフの役割分担

スポーツクラブ21おやけ(たつの市)

平成15年に発足し、小宅小学校を活動拠点に活動。種目はフルコンカラテ、バドミントン、バスケットボール、卓球、バレーボール、ソフトバレーボール、フットサル、空手、少林寺拳法、ペタンク、グラウンドゴルフ、ゲートボール、サッカー、少年野球、ウォーキング、登山など多項目。

テーマ 高齢化が進むクラブ運営

野田川スポーツクラブ（与謝野町）

京都府北部に位置。平成19年2月にクラブが設立。

バドミントン、ソフトバレー、卓球、ビーチボールバレー、ショートテニス、ニュースポーツ、エアロビクス・ヨガの定期的活動をはじめ、ハイキングやクラブ交流会を開催している。事務局は町立中央公民館内に設置している。



3. 全体会・まとめ

SC全国ネットワークの大原克彦常任幹事がコーディネーターを務め、7つのブース発表者から熱のこもったエールが送られました。（内容は次のとおり）

平成17年の創設支援時から「クラブミーティング」に毎年参加しています。当初はクラブの理念がわからなかったが、今では理念が一番大事だと思っています。地域にクラブが本当に必要なのか、必要でないのかを大いに議論してください。

自治会をはじめ、地域の色々な人に声をかけることが大事です。

理念の次に、ビジョン(長期・短期)が大切になってきます。また、みんなが楽しくやっていると人がたくさん集まってきますよ。

スタッフも楽しむことが大事です。自然に応援者も集まってきますよ。

近くに大学がないので大学との連携はできないと思っておられるクラブには、私たちがら出向いていきます。どこにでも行きますので、ぜひ連絡してください。

スポーツは楽しむものです。一人ではできないことができます。

安全・安心、地域にとってクラブの必要性や意義を考えることが大事です。

今日のクラブミーティングで発表する機会を与您にいただきありがとうございます。振り返る機会になりました。我がクラブ60代で青年クラブです。

発表クラブからエールが寄せられた後、大原克彦常任幹事が閉会挨拶を行い、2日間の近畿ブロッククラブミーティングを終了しました。

（報告：近畿ブロック地方企画班員 松田雅彦、立野誠次）